



明倫の里 城北 ともしび

発行・城北コミュニティ 丸亀市御俱所町一丁目5番20号
城北コミュニティセンター「明倫」 ☎25-2141

城北地区人口

世帯数	2,798 (+6)
人口	6,148人(+7)
男性	2,887人(+8)
女性	3,261人(-1)
(平成26年12月1日現在)	
(カッコ内は平成26年11月1日比)	

3月8日に開催

第15回城北明倫まつり

城北コミュニティなどで作る実行委員会では第15回城北明倫まつりを、3月8日(日)午前9時半から明倫センター

で開催します。同センターで活動している生涯学習クラブ

が1年間の学習成果を披露するものです。当日は学習クラブ員が舞台発表や作品展示を行います。また、平山保育所

幼児のかわいい特別参加や地域住民の賛助出品もありま

す。さらに抽選会、住民グループによるバザー出店も予定しています。春の一日、クラブ員の発表

会をお楽しみください。



「楽しいようがいっこ」 プチニャンのようかい

この作品は、友だちとなかよく遊べます。
ビー玉の大きさやころがしかたをかえると、楽しく遊ぶことができます。
みんなでなかよくなるようにと考えてつくりました。

城北小学校3年 横山陸翔



城北まちづくり計画Ⅱ

城北まちづくり計画Ⅱの策定委員会が10月17日と11月26日に明倫センターで開催されました。まちづくり計画は5年前に作られ実践されていいますが、27年4月以降次の5年間のまちづくり計画を作成します。

鈴木会長や各分科会部長等30人ほどが参加して、昨今の自然災害等の現状から、今回は危機管理分科会を作り防災計画の充実を図ること。5年間で3段階に区切り具体的目標を掲げ実践化を図ること。この計画を各家庭に知らせる方法を工夫することなど、より良い計画をめざして熱心に討議が行われました。

各自治会の防災活動

最近多発する災害に備え、地区連合自治会が11月5日「香川県シエイクアウト」に参加し、各自治会も地域の特性に合った独自の防災活動に取り組んでいます。

地区連合自治会防災担当の林さんは「城北地区の全自治会が、自分たちの地域にあっ



ヘルメットは必需品

た訓練を、最低、年一回は実施し、災害に対して自分の身は自分で守る意識を育てて欲しい」といっています。

今年度の各自治会の防災活動は、▼瓦町・米松魚糸・霞町／市の防災出前講座を受講、参加者28人▼御供所町連合自治会／市の防災出前講座を受講、シエイクアウト参加後に避難訓練を実施、参加者70人▼土居町北部／市の防災出前講座を受講、シエイクアウト参加後避難訓練を実施▼風袋町／自治会自主防災会の立ち上げを準備中、市の防災出前講座を受講、参加者27人

霊場巡りで健康管理

第57回城北防犯パトロール隊意見交換会が、11月5日に開催されました。

初めに行政・丸亀警察署から隊員に日頃のねぎらいの言

葉をいただきました。意見交換会では、双方の立場からの意見が出され安心が守られる、守りたいとの意思の確認をしました。隊員の健康管理を考え万歩計の歩数で四国霊場88箇所仮想巡拝を楽しんでいただきましたと地図表を配布しました。隊員も高齢化しているため毎日を元気に活躍してほしい一念です。

また、若い隊員の参加を募集しています。子どもの登下校の時間にパトロールできる方は協力をお願いします。

さすが！なんでもできる



楽しく作りました

11月6日男性13人、ヘルスマイト6人参加して料理教室を開催しました。昨年に引き続き、今年も参加者皆さん包丁さばきもすばらしく、和氣あいあいと楽しく、お手伝いのヘルスマイトの出る幕もなぐスムーズに調理できました

た。魚のホイル蒸しはホイルに包みきれないほどの野菜の量、豚汁、小松菜の和え物、スイートポテト、野菜たっぷりでおいしくいただきました。(保健部会)

親子ハゼ釣り大会

土器川河口で11月2日、釣り場付近を清掃の後、「親子ハゼ釣り大会」が開催されました。干潮の中、釣り場を考え右往左往しながらも、楽しいハゼ釣り大会でした。

審査順位は次の通りです。

- ①藤井駿 ②白井七葉 ③中島正也 ④亀井光 ⑤岡田航輝 ⑥堀口蘭 (環境部会)

長年の清掃活動に表彰

環境部は10月16日、城北小学校低学年児童と城北幼稚園で東汐入川緑道公園の清掃活動をしました。明倫センター馬瀬實副会長が、「長年の清掃活動にロータリークラブより『善行表彰』を受けました。これからも長く続けて下さい。」と挨拶がありました。

清掃終了後、園児が「一年生になったらよろしくお願います。」児童が「待っています。」

と応える姿は、ほほえましい光景でした。(環境部会)

第2回 まち歩き 土居町周辺

普段歩きなれた街も、探索してみると何かしら新しい発見があり、住んでいる土地に一層愛着が湧き、楽しみなものです。

11月3日、文化部会主催の第2回まち歩きに31人が参加し、古地図を片手に土居町周辺を2時間ほど歩きました。



へえー こんなどころに

土居は生駒氏が丸亀に入室する以前からのこの辺り一帯の地名で、埋立てられ緑道公園に変わった外堀を境に町方と地方に分断されましたが、渡し場は江戸期を通じて繁栄し、南部の土器川沿いには古い土地らしく古い祠や地蔵などもあり、参加者も初めて見たと驚いていました。次回は風袋町周辺を計画しています。

東汐入川緑道公園工事予定

11月9日に丸亀市都市計画課と御供所町、富士見町各自治会長出席のもと、説明会が開催されました。26年度予算では、西側植栽地の整備、水路作り、公園南側御供所町、平山線の道路整備、駐車場を2箇所追加の説明がありました。今後の計画は平成27年度中に完成を目指した整備を行うとのことです。

地元としては、防災公園に

するのなら管理人棟が必要ではないか。通学路の確保、駐車場3箇所には夜間の施錠が必要—との要望を出しました。

各部会が研修会

城北コミュニティの各部会は、平成26年秋に相次いで県内外で研修を行いました。研修内容は今後の部会事業に活かします。現在立案中の城北まちづくり計画Ⅱの検討課題を考える勉強会も兼ねました。これまでの研修実施部会は

次の通りです。(①実施日②参加人数③研修内容)

【保健部会】

①7月25日 ②26人

③大塚製薬板野工場見学他

【総務部会】

①10月20日 ②20人

③但馬の小京都出石城下他

【環境部会】

①10月22日 ②26人

③徳島伊座利小規模漁村生き残りの自立した活動を研修

【福祉部会】

①10月27日 ②23人

③淡路島北淡震災記念公園他

【広報部会】

①11月19日 ②20人

③四国新聞印刷工場見学他

【体育部会】

①9月21日 ②17人

③新丸亀野球場見学、蓮池運動公園で室内外スポーツ研修

クリスマスリース作り

12月3日、明倫センターで須崎志保先生を迎えてクリスマスリースを作成しました。愛育班40人が参加しました。土台のつるにヒバの葉を巻き付け、赤いリボンや松ぼっくりで飾りつけをしました。託児を頼んでいる若いお母

さんも熟年の班員さんも、色々な種類の材料を使って思い思いのリース作りを楽しんで完成しました。(城北愛育班)



わあ〜 きれい

城北インディアカ準優勝

9月28日第59回丸亀市民体育祭のインディアカ競技において城北チーム(女子の部)員8人代表宮本小夜子さんが準優勝しました。おめでとうございます。(体育部会)

ソフトバレーボール大会開催

11月30日、城北小学校の体育館において、ソフトバレーボール大会が行われました。5チームが参加しました。
1位 土居ビーナス
2位 ういんういん
3位 しまむらA
(体育部会)

参加しませんか

●しゃんと体操

毎月1回第1火曜日

午後1時30分〜午後3時

お茶、タオル持参

●玄米にぎにぎ体操

毎月1回第3火曜日

午後1時30分〜午後3時

玄米ダンベル、お茶

タオル持参

●脳トレ教室

毎月1回最終金曜日

午後1時30分〜午後3時

今回から楽しいクイズ形式の問題も採用

ご案内

●新春おめでとうウオーケ

日時 平成27年1月11日(日)

午前9時30分出発

目的地 丸亀城天守閣

●ニュースポーツ大会No.2

日時 平成27年2月15日(日)

午前10時より

場所 明倫センター

●屋外ペタンク大会と

グラウンドゴルフの体験会

日時 平成27年3月16日(日)

午前9時より

場所 東汐入川緑道公園

(体育部会)

撮っておき 活躍の 城北っ子



⑤風袋町子供会 平成26年10月18日、上級生たちで妙見宮境内のお顔を洗いました。お化粧も和装しました。お和装も和装しました。

④城北幼稚園 平成26年10月29日、いのくまバスのお披露目です。年長組18人が鼓隊演奏で華を添えました。車体に猪熊弦一郎の図案をラッピングしてあります。初乗車も楽しみました。市運用で市内外を走ります。

学園の現場から

土居保育所

所長 児玉貴美子



どんぐりいっぱい拾ったよ

カサカサ：積もった落ち葉を踏みしめながら歩く。北風が木々をこする不気味な音に「すごいなあ」と驚いたり、「こわい！」と保育士にしがみつき泣き出したり。また、一面に散らばったいろいろな形や大きさのどんぐりを見つけ嬉嬉として拾い、職員の用意した大きな袋はみるみる一杯になり一人で運べないほどの大収穫で大満足で帰ったことも。行きかう観光客と挨拶を交わしながら、5歳児は3歳児をリードしながら天守閣を目指す。土居保育所にとつて身近にある亀山公園での「ひまわりタイム」のひとこまです。

城北コミュニティだより「ともしび」編集・広報部会
年間4回発行（1月、4月、7月、10月の各1日付）

してきます。例年、4月の初めに4・5歳児が行く「お花見散歩」がスタートですが、今年度は全幼児そろってお城に出かけ、異年齢でふれあいながら自然の中で遊びたいという声が職員から上がりました。保育所で一番小さい1歳児も夏の終わりから参加しました。広場で全幼児がふれあ

自然の中で心も体もぼっかぼか

い体操を楽しんだ後、1・2歳児はうるし林で遊びました。どんぐりを拾った一人が穴の空いた切り株を見つけ、穴の中にそっと入れると、見ていた他の子ども達もどんぐりを拾っては入れ始めます。切り株が大きなお椀に見えたのかしら？ だれに食べてもらうのかしら？ とでもほほえましい光景でした。切り株がいっぱいになったら、今度は友達や保育士と追いかけてごっこ。子ども達の嬉しい声が響きました。しばらくすると「おーい」と聞きなれた声。どうやら声は天守閣についた3・4・5歳児のようです。姿は見えないけど、声に向かって「おーい」と手を振りました。年が明けたら冬のお城で遊びます。友達や自然とふれあい、心も豊に体も逞しく健やかに育って欲しいと願っています。

は、自宅の庭先で川柳の句作りをするのを日課にしています。福岡さんは川柳番傘の同人で、現在は丸亀番傘川柳会

川柳を人生の目標に

御供所町 福岡 俊子さん

蝶が湧く
あなたの手紙から
いっぱい

の会長。川柳「番傘」誌の巻頭を度々飾っており、川柳会の選者や新聞の柳壇選者を務めるなど経験豊かです。雅号は「紫蝶」。冒頭の句は福岡さん一押し作品。亡きご主人との思い出をつづったもの。

「五七五の川柳を知ったのは、友達のお親に連れられて大会に参加したのがきっかけ。その時まで川柳と俳句の違いも知りませんでした」
昭和46年ごろのこと。

その後、丸亀在住だった川柳界の大御所、安田蝶の助さんと出会い指導を受けました。「紫蝶」は安田蝶の助さんが名づけ親。紫は最高の色とか。川柳と出合えて人生の目標ができました。探求心が養われたことが生活の中で大きなプラスとなりました。ほかの道は考えませんでした。子ども時代からの大の読書好きは今も変わりません。

私のライフワーク My Lifework



福岡 俊子 12年
集句成句
考す平た
か思平た
にで思平
緑先さん
庭岡さん
出版

お願い

地域住民に登場を願う連載企画です。今回は「私のライフワーク」ですが、「私の休日」「エコのすすめ」「思い出アルバム」「ちよっと便利」おすめ

あとがき

城北コミュニティセンター「明倫」が完成して今年で17年目を迎えます。

その間ここを拠点として地域の方々が集い、互いに学びあい、ふれあいを深め、みんなで支えあい、楽しさあふれる町にとの地区住民の思いが

かなえられてきました。また城北小学校の建て替えが進み、今春には新築落成を迎えます。白亜の校舎を目の前にして子どもたちの明日への夢や希望が伝わってくるようです。「明倫の里 城北」地区の活性化がより一層深まることを期待します。

(佐野R)

「城北コミュニティセンター」の名称を「ともしび」紙上では「明倫センター」と表記しています。